

## FOOMA JAPAN 2016 (国際食品工業展) ブースレポート “つながる”システムで現場と経営の変革を実現 ～次世代の食品製造を実現する 日立のサービスソリューション～

日立グループは、2016年6月7日(火)～10日(金)に東京ビッグサイトで開催されたFOOMA JAPAN 2016 (国際食品工業展)に出展。複雑化する経営課題に対する解決が急務となっている食品業界のお客さまに向けたサービス・各種製品を紹介しました。

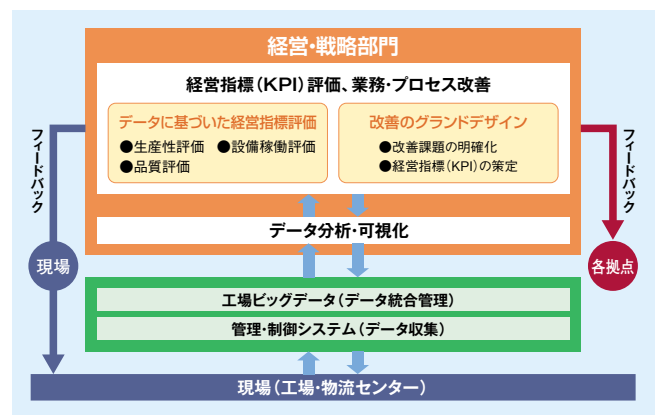


### コンセプト 次世代の食品製造を実現する日立のサービスソリューション

食品業界では、食のグローバル化、製造現場での労働力不足、生産や流通の複雑化、食の安全・安心の担保など多くの経営課題の解決が急務となっています。

日立はITと最新設備により、製造現場の効率化と品質向上を実現させ、“つながる”システムにより、これまでにない次世代型の食品工場の運営をサポートします。

現場における、人・モノ・設備などの情報をシームレスに収集し、その多種多様なデータを統合管理、データを活用した分析・可視化により、生産性、品質、設備稼働などの経営指標を評価します。そして、その結果を、現場や経営にタイムリーにフィードバックし、継続的な改善を支援するサービスを提供します。



日立のサービスソリューション

### 展示・紹介した製品、サービス

展示ブースでは、さまざまな角度から各種製品・サービスを紹介。工場業務の全体を統合支援する「課題解決サービスエンジニアリング」では、お客さまとの協創による課題解決事例として、雪印メグミルク株式会社が導入したソリューションについて、映像を交えて紹介しました。

「工場建設・設備」分野では遠心薄膜蒸発器「サニーコントロール」、エアシャワー、エアプローブロウ、窒素ガス発生装置などの実機を展示し、注目を集めました。このほか、「生産管理」では生産・製造管理ソリューション、エネルギーマネジメントシステム、実績管理・分析システム、プロセス屈折率計を、「品質管理」では検査データ管理システムを解説。「製品印字」では産業用インクジェットプリンター、レーザーマーカ、印字検査装置などを展示しました。来場者の関心を集めていたのが「フードディフェンス」です。監視カメラシステム、生体認証やハンズフリーによる入退室管理システム、車両入退場管理システムなどデモンストレーションを行いました。



#### お問い合わせ先

(株)日立製作所 社会イノベーション事業推進本部  
<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/totalsolutions/food/form.jsp>

情報提供サイト  
<http://www.hitachi.co.jp/products/food/>